

事業報告書

2019年4月1日 ～ 2020年3月31日

公益財団法人 藤原ナチュラルヒストリー振興財団

公益財団法人藤原ナチュラリスト振興財団
2019年度 事業報告

I. 事業の状況

1. ナチュラリストの学術研究に対する助成(定款第4条第1項第1号)【公1】

ナチュラリストの分野を動物・非動物に分け、今年度は日本国内の大学、研究施設に勤務するか、又は日本国内に居住する動物分野の研究を行っている個人又はグループに対し、研究に必要な資金を助成する。

・2020年1月29日開催の理事会に於いて、非動物学107名(地学48名、植物学59名)の申請の中から、2回の選考委員会によって選ばれた24名(各12名)、総額14,409,000円(地学648万円、植物学792万9000円)を2019年度の学術研究助成者として承認した。

当年度の本助成の予算額は1300万円であったが、助成金の上乗せを行い、助成総額は予算額を1,409,000円上回った。

尚、当年度は辞退者はなく、承認された合計24名に総額14,409,000円の助成金を贈呈した。

(助成者一覧:別表1参照)

2. 初等中等教育機関におけるナチュラリストの学習支援、並びに教員の研究活動に必要な実験器材や教材等への補助(定款第4条第1項第2号)【公1】

2019年度は、初等中等教育機関の中で、特に高等学校における生物の授業に必要な備品の購入等への補助を、日本国内の高等学校、並びに各国の日本人学校の高等部に対し行う。

補助の内容は、(A)①必要な備品の購入、②日本国内での課外活動に必要な交通費等、(B)古い生徒用顕微鏡の買換えとする。

・2020年1月29日開催の理事会に於いて、16件(A①6件、②2件、B8件)の申請の中から、2回の選考委員会によって選ばれた7件(A①2件・②1件、B4件)、総額4,030,620円(A①61万1160円、②28万3800円、B313万5660円)を2019年度の高等学校助成校として承認し、各校に贈呈した。

尚、当年度の本助成の予算額は400万円であったが、助成金の上乗せを行い、助成総額は予算額を30,620円上回った。

(助成校一覧:別表2参照)

3. その他この法人の目的を達成するために必要な事業(定款第4条第1項第3号)

(1)2019年度シンポジウム【公2】

2019年11月17日ナチュラリストに関する第11回シンポジウム(テーマ:光の自然史)を国立科学博物館日本館講堂において開催し、4名の講師による以下の講演を行い、参加者は162名であった。

- ・近江谷 克裕(産業技術総合研究所) 「海の光る生物が教えてくれる自然のふしぎ」
- ・大場 裕一(中部大学) 「ルミナス・インセクト～光る昆虫のふしぎ」
- ・館野 正樹(東京大学附属日光植物園) 「光の弱い林床で生き抜く植物の知恵 関東～沖縄～チリ」
- ・山下 桃(日本学術振興会特別研究員RPD □国立科学博物館)

【モササウルス類が感じた光～化石海生爬虫類の視覚復元】

又、同日開催した第10回高校生ポスター研究発表では、受け入れ件数を前年度までより増やし、19件(13校)の高校生によるポスター発表が行われた。
19件のうち以下のとおり、最優秀賞1件、優秀賞2件を表彰した。

最優秀賞

「環境によるゴカイの体重変化を調べる」

東京都立江北高等学校：(2年)青木亮太 他7名

優秀賞

「ミツバチの記憶・学習能力の発達要因」

安田学園高等学校：(2年)川口拓真

「光単一環境によるマダイの色揚げ効果～」

浦和実業学園高等学校：(1年)池田拓史・大瀧颯祐・湯谷哲也

(2)2019年度フォトコンテスト【他1】

第6回中学生・高校生フォトコンテストを、7月1日から9月30日までを応募期間として開催し、前年度と同数の191件の応募があった。窪川かおるフォトコンテスト選考委員の「第6回中学生・高校生フォトコンテスト選考経過報告書」をもとに、11月17日に理事会を開催し、以下のとおり最優秀賞1名並びに優秀賞2名、佳作13名を決定した。

最優秀賞 「小さな鳥の食事風景」 本多雄高（石狩市立樽川中学校2年）

優秀賞 「山の主」 鈴木琉也（高槻市立第一中学校3年）

「茜色のメッセージ」 柳 瑠奈（奈良県立平城高等学校3年）

佳 作 「下校途中」 鳥海梨菜（東京都立両国高等学校附属中学校3年） 他12作品

又、一般の第10回フォトコンテストは、10月1日から11月30日までを応募期間として開催し、105の応募があり、窪川かおるフォトコンテスト選考委員の「第11回フォトコンテスト選考経過報告書」をもとに、2020年1月29日に理事会を開催し、以下のとおり最優秀賞1名、優秀賞2名、佳作7名を決定した。

最優秀賞 「立ち向かう」 近藤紀子

優秀賞 「一日の始まり」 尾上八郎

「まだら岩」 木下 滋

佳 作 「解き放たれた命」 上杉裕昭 他6作品

各フォトコンテストの受賞作品及びコメントを、当財団ホームページに掲載した。

II. 庶務の概要

① 役員会等に関する事項

(1) 理事会 (総理事数9名、定足数5名)

定款第44条により、電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、理事会決議があったものとみなすこととなっております。

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果	出席人数
2019.5.21	1 平成30年度事業報告及び附属明細書承認の件 2 平成30年度収支決算書承認の件 3 一般正味財産(一部)の特定資産への振替え並びに積立限度額変更承認の件 4 東京都以外のシンポジウム委員選任承認の件 5 財団設立40周年記念事業委員会並びに委員選任承認の件 6 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について 7 報告事項:理事長及び常務理事より、職務執行状況報告	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 出席者全員了承	理事9、監事2
2019.11.17(臨時)	1 第6回中学生・高校生フォトコンテスト受賞作品承認の件	全会一致で承認・可決	理事6、監事1
2020.1.29	1 2019年度学術研究助成決定の件 2 2019年度高等学校助成決定の件 4 第11回フォトコンテスト受賞作品承認の件 3 報告事項:理事長及び常務理事より、職務執行状況報告(その他:地方シンポジウム委員長より、2020年度予定の地方シンポジウム開催にあたっての諸事項の現状報告と後援に関する相談。事務局から、来年度の事業計画等の策定にあたっての方針等の確認。)	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 出席者全員了承 出席者全員了承	理事8、監事2
2020.2.28	1 2020年度事業計画承認の件 2 2020年度収支予算書承認の件 3 特定資産積立金並びに積立限度額の変更承認の件 4 2020年度学術研究助成並びに高等学校助成選考委員選任の件 5 財団設立40周年記念事業承認の件 6 2020年度東京都以外でのシンポジウム(東北シンポジウム)開催内容承認の件 7 評議員 候補者選任の件 (その他:事務局より、2020年度開催予定の東京でのシンポジウム演者推薦のお願い。学術研究助成に関する報告)	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 出席者全員了承	理事8、監事2

(2) 評議員会 (総評議員数10名、定足数6名)

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果	出席人数
2019.6.18	1 平成30年度事業報告並びに附属明細書報告の件 2 平成30年度収支決算書承認の件 3 一般正味財産(一部)の特定資産への振替え承認の件 4 理事・監事選任の件 5 評議員選任の件 6 報告事項:理事長及び常務理事より、職務執行状況報告	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 出席者全員了承	評議員8、監事2、理事9

(3)選考委員会(学術研究助成)

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
2019.6.7	1 選考委員長の選出 2 応募要領及び申請書について 3 審査の方法 4 評価の方法	多田隆治氏(千葉工業大学)を委員長に選出。申請案件を各選考委員によって3つの評価項目に付き4~1の評点を記し、総合評価としてA~Dの評点を記入した評価表を作成し、これらをまとめた総合評価表を基に、選考委員会に於て最終決定することを承認。
2019.12.26	2019年度学術研究助成(地学・植物学)候補者選定の件	候補者として24名(地学、植物、各12名)総額1440.9万円を選考した。又、決定後辞退があった場合を考慮し、繰上げ候補者6名(地学、植物、各3名)を選考した。

(4)選考委員会(高等学校助成)

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
2019.5.27	1 選考委員長の選出 2 募集案内及び申請書について 3 審査の方法 4 評価の方法	山沖和之氏(東京都立小松川高等学校教諭)を委員長に選出。事務局より助成総額と各助成金額と助成内容(A①備品・②日本国内での課外活動に必要な交通費等の補助・B生徒用の古い顕微鏡の買換え補助の3通り)は昨年度と同様という説明がされた。申請案件を各選考委員によって、A①と②は3つの評価項目の評点(5~1点)、総合評価(A~D)、優先順位を記入した評価表を作成、又Bについては備品台帳を確認のうえ、古いもの・地域性を考慮した上で優先順位を記入した評価表を作成し、これらをまとめた総合評価表を基に最終決定することを承認。
2019.11.29	2019年度高等学校助成候補校選定の件	候補校として7件(A①2件・②1件・B4件)を選考した。見積後の最終金額をもって理事会で検討の結果、備品や顕微鏡の台数等について承認され、助成総額は4,030,620円となった。

選考委員(学術研究助成):6名

学術分野	氏名	就任年月日	現 職	備考
動物学	多田 隆治	2019.4.1	千葉工業大学 惑星探査研究センター 招聘研究員	委員長
〃	菅原 敬	〃	首都大学東京 理学部 生命科学科 准教授	
〃	佐藤たまき	〃	東京学芸大学 教育学部 自然科学系 准教授	
〃	海老原 淳	〃	国立科学博物館 植物研究部 研究主幹	
〃	山口 晴代	〃	国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター 生物多様性資源保全研究推進室部	
〃	西田 治文	〃	中央大学 理工学部 教授 (財団理事)	

選考委員(高等学校助成・旧備品助成):3名

氏 名	就任年月日	現 職	備考
山沖 和之	2019.4.1	東京都立小松川高等学校 主任教諭	委員長
佐藤 龍平	〃	東京都立科学技術高等学校 教諭	
塩入 直也	〃	東京都立富士高等学校 教諭	

② 職員に関する事項

(2020年3月末日現在)

職名	常勤・非常勤	氏名	採用年月日	担当事務	備考
職員	常勤	藤原 基美子	S55.9.28	事務局長	
職員	常勤	井石(宮澤)亜紀	H27.4.1	一般事務	

③ 許可、認可、承認、証明等に関する事項

該当なし

④ 契約に関する事項

該当なし

⑤ 寄付金に関する事項

該当なし

⑥ 内閣府公益法人(行政担当)への届出

提出年月日	届出内容
2019.6.27	平成30年度 事業報告等
2019.7.22	変更の届出(理事9名、監事2名再任、評議員2名任期途中の辞任により2名選任)
2020.3.26	2020年度 事業計画書等

<附属明細書の作成について>

上記の事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定されている附属明細書により、その内容を補足すべき重要な事項はありませんので附属明細書は作成しておりません。

2019年度(第28回)学術研究助成 助成者一覧

助成金額 合計1440万9000円

[地学] 12名 648万円

NO	氏名	研究課題	助成金
1	今井 拓哉	化石カメ類卵における乾燥化への適応:手取層群桑島層・北谷層(前期白亜紀後期)におけるケーススタディ	68.9万円
2	大村 文乃	化石種ベレムナイトの運動様式を推定する形態学的基盤の構築～頭足類の運動器の機能形態学的アプローチ～	60万円
3	北野 一平	東南極リュツォ・ホルム岩体における高温変成岩のジルコン年代と全岩化学組成から読み解く大陸衝突過程	70万円
4	關 明日香	中生代北西太平洋域における沈木生態系の初期進化の解明	55万円
5	関 有沙	堆積物の元素組成から読み解く、日本海の炭酸塩溶解と第四紀気候変動との関係	45万円
6	田中 源吾	古生代後期の日本列島の位置を探る一介形虫化石群を例に一	34.8万円
7	田村 裕二郎	日本の花崗岩を用いて復元する過去1億年の地磁気変動	58.5万円
8	成田 敦史	北海道東部糠平・本別地域の中新世-更新世植物化石群の年代と古植生・古気候	52.3万円
9	羽田 裕貴	約300万年前の温暖期における北西太平洋の古海洋・古気候変動	40万円
10	藤岡 大	腕足動物殻に記録された古環境記録は埋没続成作用によってどう改変されるか?	60万円
11	村宮 悠介	炭酸塩コンクリーションの形態解析による古生物の軟体部復元	50万円
12	安井 謙介	日本移入期におけるナウマンゾウの実態の解明	53.5万円

[植物学] 12名 792万9000円

NO	氏名	研究課題	助成金
1	板垣 ひより	ヘソタケ科 <i>Pyrenopeziza</i> 属の標本とDNA配列を用いた種多様性の探索と、バーコード的手法の有用性の検討	47.5万円
2	嶋村 正樹	人工交配実験を通じたコケ植物の有性生殖における自他認識の研究	56万円
3	高原 光	最終氷期最盛期における東北地方南部立谷川河床埋没林(山形県天童市)の植生復元	65.2万円
4	高山 浩司	海流散布植物ハマボウの潜在的近交弱勢と他殖促進機構の解明	70万円
5	都築 洋一	なぜ同一集団の個体間で開花時期が異なるのか:フェノロジーと繁殖戦略の統合による植物の時間利用戦略の解明	80.7万円

6	東馬 加奈	腊葉標本から探る大都市における戦前の植物相について	67.4万円
7	長沢 耕樹	多雪環境における環境指標種トガクシソウの隔離分布成立過程の解明と保全遺伝学的研究	70万円
8	中濱 直之	遺伝情報を長期保存できる植物乾燥標本作製手法の開発	70万円
9	孫田 佳奈	ユキノシタ科ダイヤモンドソウにおける異なる光環境への適応による生態的種分化機構の解明	51.1万円
10	三宅 崇	リュウキュウサネカズラとサネカズラの分布境界付近における送粉共生系の解明	85万円
11	八木 龍太	Rhizoctoniaと共生するラン科植物の栄養摂取様式の解明	70万円
12	李 俊男	クロユリの花が分泌する多量の浸出液:擬態花における報酬の機能と進化	60万円

2019年度（第28回） 高等学校助成 助成校一覧表

【A① 備品助成】

NO	氏名・学校名	生徒数	品名
1	磯 清志(61才) 北海道旭川北高等学校 全日制課程	1年 240名 2年 240名 3年 280名 クラブ活動その他20名	1.低温恒温培養器 1台 ウチダ洋行 型番:8-132-0070 型式:TVG241AA 運賃、施工費込み 473,000円
		合計	473,000円
2	高橋 将太(33才) 青森県立名久井農業高等学校 全日制課程	1年 0名 2年 19名 3年 20名 クラブ活動その他0名	1.二酸化炭素濃度計(希望物品の一部) 植物育成用CO2コントローラー SODATECH 2台 83,600円 同 CO2レギュレーター電磁弁付 SODATECH 2台 35,200円 炭酸ガス(ガスのみ)30L 2本 19,360円
		合計	138,160円
A① 合計			611,160円

【A② 課外活動に必要な交通費等の補助】

NO	氏名・学校名	生徒数	品名
1	大塚 一紀(36才) 埼玉県立蕨高等学校 全日制課程	同校他数校参加 1-3年生30名程度	1.大型バス借上料 222,200円 2.マイクロバス借上料 61,600円
			合計
A② 合計			283,800円

【B 生徒用顕微鏡の買換え補助】

NO	氏名・学校名	生徒数	品名
1	甲斐 夕佳(35才) 熊本県立小国高等学校 全日制課程	1年 57名 2年 0名 3年 21名	1.生物顕微鏡 (YAGAMI) YM-600L-hg :15台 660,000円
		合計	660,000円
2	白鳥 太智(37才) 長野県佐久平総合技術高等学校 普通課程	1年 0名 2年 200名 3年 70名	1.生物顕微鏡 (ケニス) NJL-600 :15台 759,000円
		合計	759,000円
3	鎌田 多美子(46才) 山口県立萩高等学校 普通科	1年 113名 2年 140名 3年 137名	1.生徒用生物顕微鏡 (島津理化)BA80-6S :15台 973,500円
		合計	973,500円
4	五十嵐めぐみ(46才) 酒田南高等学校 全日制普通科課程	1年 206名 2年 148名 3年 219名	1.生物顕微鏡 (ナリカ) ネクロスType12-E :16台(うち12台決定) 743,160円
		合計	743,160円
B 合計			3,135,660円

総合計	4,030,620円
-----	------------